



by HARMAN

# TUNE600BTNC

## 取扱説明書

### 安全上のご注意

- 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

**警告** この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

**注意** この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

**禁止** (してはいけないこと) を示す記号です。

**水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。**

**分解** してはいけないことを示す記号です。

**指示に基づく行為の強制 (必ず実行していただくこと) を示す記号です。**

**濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。**

**電源アダプタをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。**

**触れてはいけないことを示す記号です。**

### 警告

**煙が出る場合、異常なおいや音が出る場合は、すぐに電源を切る。**  
煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社サービスセンターに修理を依頼してください。

**水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しない。**  
火災・感電の原因になります。

**本機の内部に水などがに入った場合は、本機の電源を切り、販売店または弊社サービスセンターに点検を依頼する。**  
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

**アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くで使用しない。**  
引火性溶剤が本機内部の電源部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

**分解や改造をしない。**  
感電の原因になります。

**調理台や加湿器の近くなど油煙や湯気があたる場所では使用しない。**  
火災・感電の原因になることがあります。

**交通安全のために自転車やバイク、自動車の運転中にヘッドホンを使用しない**  
周囲の音が聞こえにくくなるため、交通事故の原因となります。

**歩行中、交差点や踏切、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない**  
交通事故の原因となります。

### 注意

**ほこりや湿気が多い場所に設置しない。**  
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となります。

**薬物厳禁**  
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。  
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

### 電池についてのご注意

- ❗ **電池の液が漏れたときは直ちに火気より離す。**  
漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。また電池の液が目に入ったり体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因になります。
  - 液が漏れたとき  
→ 漏れた液に触れないように注意しながら、直ちに火気より離してください。乾いた布などで電池ケースの周りをよくふいてください。
  - 液が目に入ったとき  
→ 目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。
  - 液が体や衣服についたとき  
→ すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い流してください。

- ❗ **電池について以下のことに注意する。**  
本製品はリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する恐れがあります。
  - 火の中に入れたり、加熱したりしないでください。また、直射日光のあたる場所、高温多湿の場所、車中等に放置しないでください。
  - 使用中、保管時等に発熱したり、異臭を発生したり、変色、変形、その他今までと異なる場合は使うのを止めてください。
  - 電子レンジや高压容器に入れないでください。
  - 水、海水、ジュースなどで濡らさないでください。
  - 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
  - 所定の時間を超過しても充電が終わらない場合は、充電を止めてください。
  - 本書で指定している以外の方法で充電しないでください。

### Bluetooth® に関するご注意

本機は、2.4GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器（電子レンジやコードレス電話など）で使用されています。以下のような場所で本機を使用する場合、送信 / 受信ができなくなることがあります。

- ・ 2.4GHzを利用する無線LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります。）
- ・ ラジオから離してお使いください。（ノイズが出る場合があります。）
- ・ テレビにノイズが出た場合、本機（および本機対応製品）がテレビ、ビデオ、BSチューナー、CSチューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機（および本機対応製品）をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

**注意**  
 ・ 本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。  
 ・ 本機は、全てのBluetooth機器との接続動作を保証するものではありません。  
 ・ 弊社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

**安全にお使いいただくために**  
 ・ 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。  
 ・ 航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に従ってください。

**ご注意ください電子機器の例**  
 補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。  
 ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

**電波法に基づく認証について**  
 本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。  
 ・ 本機を分解 / 改造すること。  
 ・ 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

**周波数について**  
 この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFHSS（周波数拡散方式）を採用し、想定される干渉距離は約10mです。



この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社サービスセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターへお問い合わせください。

### 付属品

お使いになる前に、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

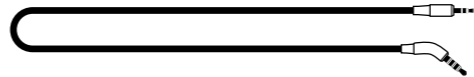
- 充電用ケーブル（オレンジ）



- 日本語取扱説明書（本紙）

- 多言語取扱説明書

- オーディオケーブル

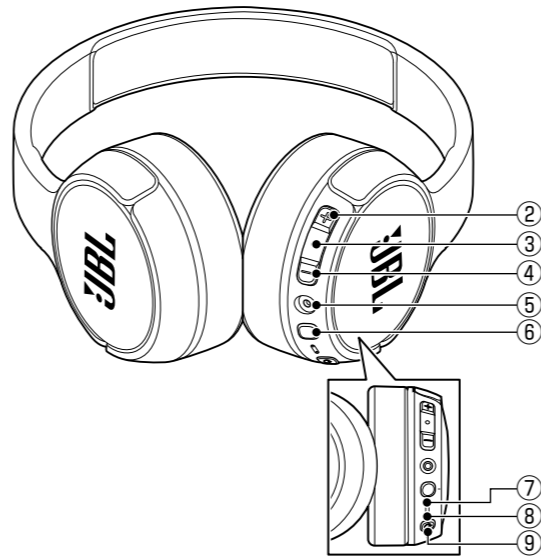


- 保証書（日本国内用）

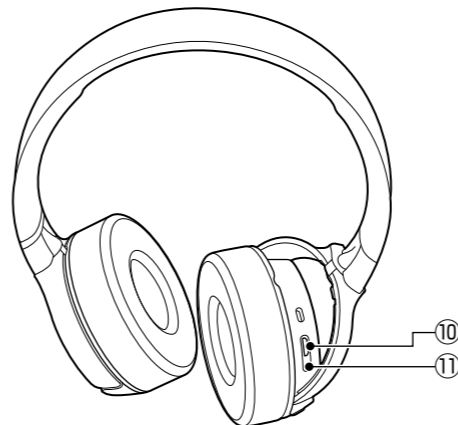
### 各部の名称



- ① ヘッドバンド  
長さを調整して装着してください。



- ② 音量+ボタン
- ③ マルチファンクションボタン (▶||/◀)
- ④ 音量-ボタン
- ⑤ オーディオケーブル端子
- ⑥ ANC (アクティブ・ノイズキャンセリング) ボタン
- ⑦ ANC (アクティブ・ノイズキャンセリング) インジケーター
- ⑧ 電源インジケーター
- ⑨ 電源ボタン (⏻)



- ⑩ USB コネクター
- ⑪ バッテリーインジケーター

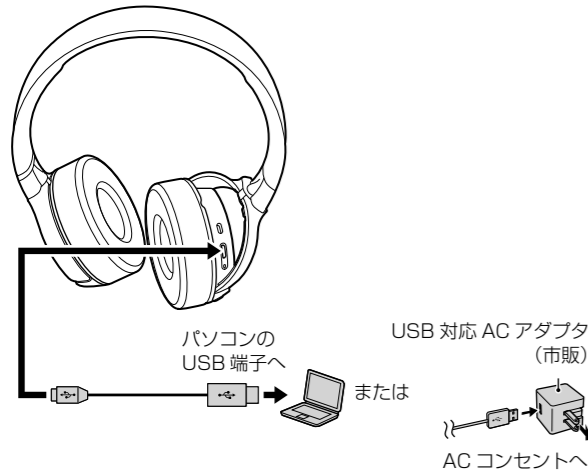
## 充電する

付属の充電用ケーブルを使って充電します。

充電時間は、約2時間\*です。

\* 充電電池が空の状態から満充電になるまでの時間です。

- ① 本機の電源を切る。  
電源を入れていた場合は、電源ボタンを2秒以上長押しして電源を切ります。
- ② 本機のUSBコネクタに充電用ケーブルを接続する。  
本機の電源が入っていても、自動的に電源が切れます。
- ③ 充電用ケーブルを、お手持ちのパソコンのUSB端子に接続する。  
または、市販のUSB対応アダプタを使用して、コンセントに接続します。



充電中はバッテリーインジケータが赤く点灯します。

ACアダプタは、5V 1A以下の市販品をお使いください。

- 本機とパソコンを充電用ケーブルで接続しても、パソコンに保存された楽曲を本機で聞くことはできません。
- 充電中は本機を使用することはできません。
- Bluetoothを使用しない場合や電池切れの際は、オーディオケーブルを接続することで通常のヘッドホンとしてお使いいただけます。

### 充電が完了すると

バッテリーインジケータが消灯します。

充電用ケーブルを取り外してください。

### 電池残量について

電池残量が少なくなるとバッテリーインジケータが赤く点滅します。

バッテリーインジケータが赤く点滅したら充電してください。

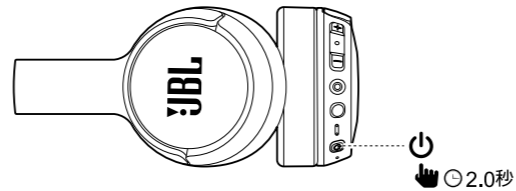
## Bluetooth接続を行う

Bluetooth機能を使ってワイヤレス再生やハンズフリー通話を行うには、はじめに本機とBluetooth対応デバイスを認識させる「ペアリング」が必要となります。

### ▶ ペアリングを行う

以下の手順は一例です。詳細については、接続する機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

- ① 電源ボタンを2秒以上長押しして本機の電源を入れる。  
電源インジケータが青色で点滅し、ペアリング設定状態になります。



- ② デバイス側でペアリング操作を行い、登録 / 接続する。  
ペアリングが完了すると、電源インジケータが青色で点灯します。
- ③ ヘッドバンドの長さを調整して装着する。

### iPhone/iPod/iPad の場合 :

- ① iPhone/iPod/iPad をペアリング設定状態にする。  
「設定」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オフ」から「オン」にします。  
Bluetoothに接続できるデバイスの一覧が表示されます。
- ② デバイスの一覧から「JBL Tune600BTNC」を選択する。  
接続が完了すると、デバイス上で「接続済み」と表示されます。



### 携帯電話・スマートホンでハンズフリー接続を行う場合 :

- ① 携帯電話・スマートホンでペアリング操作を行い、登録 / 接続する。  
(パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。)  
ハンズフリー通話をしたい場合は「ハンズフリー (HFP)」または「ヘッドセット (HSP)」、音楽再生のみ行いたい場合は「ワイヤレスステレオ (A2DP)」で接続してください。
  - 登録にはお使いの携帯電話・スマートホンの「端末暗証番号」が必要になる場合があります。
  - 機種によっては同時に接続できないものがあります。また、設定方法は機種により異なりますので、携帯電話・スマートホンの取扱説明書も併せてご覧ください。

### その他のデバイス (携帯電話・スマートホンなど) の場合 :

- ① ペアリング設定状態にする。  
接続するデバイス側で、本機を検出可能な状態にします。お使いのデバイスの取扱説明書も併せてご覧ください。  
(パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。)  
一部のデバイスでは、接続を確認するメッセージが表示されます。  
ペアリングが完了すると電子音が鳴り、電源インジケータが青色で点灯します。

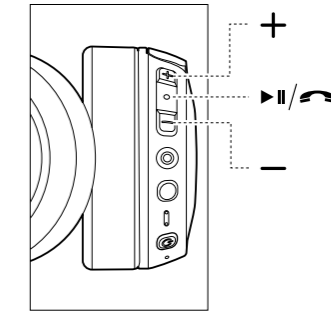
### ご注意

- Bluetoothは約10mまでの距離で接続できますが、障害物(人体、金属、壁など)や電波状態によって接続有効範囲は変動します。
- 以下の場合、Bluetooth接続に障害を起こす場合があります。このような場合、再生や通話が途切れることがあります。使用環境を変えてご使用ください。
  - 無線LANが構築されている場所、電子レンジ・携帯電話・通信機能のある携帯ゲーム機器などを使用中の周辺、またはその他電磁波が発生している場所など

本機は一度ペアリングを行ったデバイスの情報を記憶していますので、ペアリングを行ったあとは、本機の電源を入れ、接続したいデバイスのBluetoothをオンにするだけでBluetooth接続することができます。

### ▶ 基本操作

Bluetooth接続中は、本機右チャンネルのボタンで以下のコントロールを行うことができます。



音量ボタン (+ / -) :

押して音量を調整します。

音量+ボタンを2秒以上押し続けると、次の曲にスキップします。

音量-ボタンを2秒以上押し続けると、演奏中の曲の先頭に戻ります。曲の先頭で押し続けると前の曲にバックスキップします。

マルチファンクションボタン (▶ ||) :

押すごとに再生 / 一時停止します。

マルチファンクションボタン (◀ ◂) :

携帯電話・スマートホンでBluetoothでハンズフリー接続しているときは、ハンズフリーボタンになります。

着信中に1回押すと電話を受けます。約2秒以上押し続けると着信拒否します。

通話中に1回押すと電話を切ります。

### ▶ Bluetooth接続を解除する

デバイス側でBluetoothを「オフ」にし、接続を解除します。

### ▶ 本機の電源をオフにする

電源ボタンを2秒以上長押しします。

電源インジケータが消灯します。

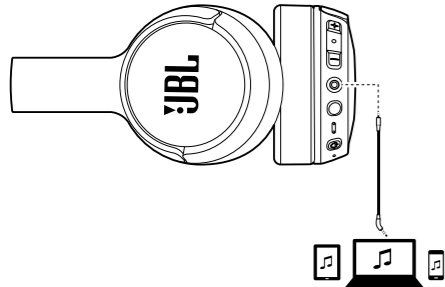
## オーディオケーブルでデバイスを接続する

Bluetooth 接続を使用せずに、付属のオーディオケーブルでオーディオ機器や PC の音声出力端子 (3.5mm ステレオミニジャック) に接続し、音声を再生することができます。

### ご注意

オーディオ機器や PC の音量は低めに設定しておいてください。再生を始めると、思わぬ大音量となることがあります。

- ① オーディオケーブルの片方のプラグ (小さい方) を本機右チャンネルのオーディオケーブル端子に接続する。
- ② もう一方のプラグ (ステレオミニプラグ) をオーディオ機器や PC に接続する。



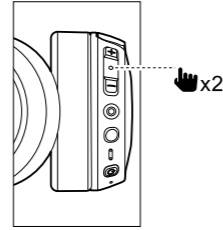
- ③ 本機のヘッドバンドの長さを調節して装着する。
- ④ オーディオ機器・PC で再生を開始する。

音量の調整、一時停止などの制御は、オーディオ機器・PC で行ってください。

スマートホンなど、通話機能のある機器とオーディオケーブルで接続している場合、着信など通話に関する操作は機器側で行ってください。

## Siri / Google Now を起動する

iPhone・スマートホンを Bluetooth でハンズフリー接続しているときにマルチファンクションボタンを 2 回押します。

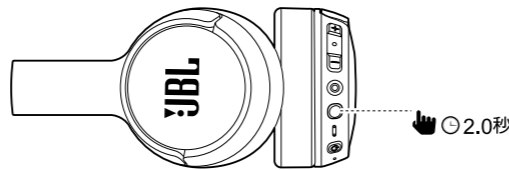


お使いのデバイスの Siri または Google Now が起動します。

## ノイズキャンセリングをオン / オフする

本機は、お買い上げいただいたときの状態ではノイズキャンセリングがオンになるように設定されています。

周りの音も聞きたいなど、ノイズキャンセリングを無効にしたいときは、本機の ANC (アクティブ・ノイズキャンセリング) ボタンを使用します。



ノイズキャンセリングのオン / オフの状態は、ANC (アクティブ・ノイズキャンセリング) インジケータが示します。

ノイズキャンセリング	ANC インジケータ
オンのとき	白色で点灯
オフのとき	消灯

### ▶ Bluetooth 接続で音楽を聞いているとき

ANC (アクティブ・ノイズキャンセリング) ボタンを 2 秒以上長押しすると、ノイズキャンセリングのオン / オフが切り替わります。

音楽の再生中にオンからオフに切り替えると、ヘッドホンからピーッという電子音が聞こえ、再生音が一時途切れます。

音楽の再生中にオフからオンに切り替えると、ヘッドホンからピーッという電子音が聞こえ、再生音が一時途切れます。

### ▶ オーディオケーブルを接続して音楽を聞いているとき

ANC (アクティブ・ノイズキャンセリング) ボタンを 2 秒以上長押しすると、ノイズキャンセリングのオン / オフが切り替わります。

音楽の再生中にオフからオンに切り替えると、再生音が一時途切れることがあります。

## トラブルシューティング

症状	解決法
本機の電源ボタンを長押ししても電源が入らない。	本機が充電されているかご確認ください。
電源は入るが、音が出ない。	音源のデバイスと Bluetooth でペアリングされているかご確認ください。 オーディオケーブルでオーディオ機と接続している場合、機器側の音量をご確認ください。
音が歪む。	音量が上がりがすぎている場合は音量を下げてください。
ペアリングできない。	お手持ちの機器が本機と対応しているかどうかご確認ください。 別の機器と接続していないかどうかご確認ください。本機は一度ペアリングを行った機器の情報を記憶しています。音楽を再生したい機器を再接続する場合は、近くのペアリングされている Bluetooth 機器をすべてオフにし、本機の電源を入れ直してください。

### ▶ イヤパッドを交換する

イヤパッドは消耗品です。日常の使用や長期の保存により劣化しますので、傷んできたときは交換してください。新品のイヤパッドを購入する場合は、弊社サービスセンターにお問い合わせください。

## 主な仕様

タイプ	密閉ダイナミック型 Bluetooth ワイヤレス (オンイヤー)
周波数特性	20Hz - 20kHz
感度	100dB/mW (有線接続時)
音圧レベル	最大 95dB
インピーダンス	32 Ω (有線接続時)
入力	Bluetooth、φ 3.5mm ステレオミニ
Bluetooth	Bluetooth4.1
伝送範囲	Class2 (通信距離約 10m、障害なきこと)
対応プロファイル	HFP v1.6、HSP v1.2、A2DP v1.2、AVRCP v1.5
電池	リチウムイオン充電電池
充電時間*	約 2 時間
連続使用時間 (音楽再生時)*	約 22 時間 (Bluetooth オン、ANC オフ時) 約 12 時間 (Bluetooth オン、ANC オン時) 約 30 時間 (Bluetooth オフ、ANC オン時)
質量 (本体のみ)	173g

\*・電池は消耗品です。正しい方法であっても充電・放電を繰り返すと徐々に使用できる時間が短くなります。充電・再生時間は使用環境によって異なります。  
・高温状態で保管すると、電池性能の劣化が早まります。直射日光が当たらず、風通しの良い涼しい場所で保管してください。

## ▶ お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布でふき、その後乾いた布でふき取ってください

## ▶ 本機の廃棄について



Li-ion

本機は内蔵電池として充電式リチウムイオン電池を使用しています。

リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する危険性があります。

本機に内蔵されているリチウムイオン電池はリサイクルが可能です。本機がご不要となりましたら、一般ゴミなどと一緒に廃棄せず、弊社アフターサポートの窓口へご連絡ください。

### ご注意

感電などの危険があるため、本機を絶対に分解しないでください。

## ▶ HARMAN Owners' Club

この度は JBL 製品をご購入いただき誠にありがとうございます。HARMAN Owners' Club (ハーманオーナーズクラブ) は、ハーманインターナショナル取り扱い製品ご愛用者のための会員プログラムです。

会員様に向けたさまざまな特典やサービスをお届けします。

<https://www.harman-ownersclub.jp>

このアドレスからアクセスしてください。

携帯電話 (フィーチャーホン) からはご登録できませんのでご注意ください。

## ▶ アフターサポート

日本国内のアフターサポートに関する情報は、ハーманインターナショナル株式会社ホームページに掲載しています。

<http://jbl.harman-japan.co.jp/support/>

Tel : 0570-550-465 (ナビダイヤル)

受付時間 : 土日・祝日・年末年始を除く、平日 9:30 ~ 17:30



- Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
- Harman International Industries, Incorporated は、これら商標を使用する許可を受けています。
- JBL は米国およびその他の国々における Harman International Industries, Incorporated の登録商標です。



ハーманインターナショナル株式会社

© 2018 Harman International Japan Co., Ltd. All rights reserved.

XXXXXXXX